

日本あちこち河川遡行記（第300回）

大阪2-3. 東除川（その2）前半 令和1年11月14日（木）曇り一時晴

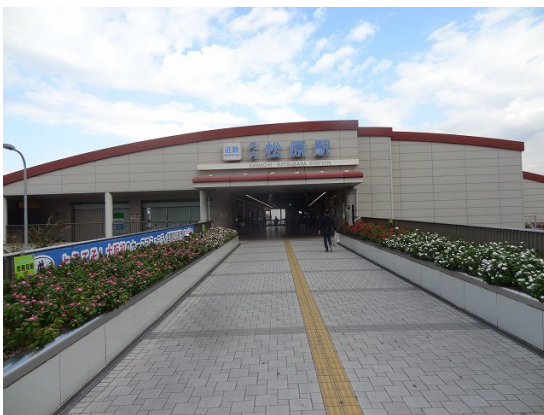
大和川集団最後の遡行区間に出かける。奈良県、中河内、南河内に出かけるのに利用した近鉄も今日が最後になるだろう。



01.今回調査区間位置図

阿部野橋から河内長野行き区間準急に乗ると次の駅は河内松原とひとつ走りて到着する。途中の8つの駅は各停にまかせて遠方客のニーズに合わせた上手いダイヤ構成である。市の名前には旧国名が無いのに駅名には何故か河内がくっ付いている。旧国鉄の駅と混同しないように後発の近鉄（旧：大鉄）が国鉄大村線に有る明治時代開業の先輩に遠慮したのだ。

前回折り返し点に向かうため駅南のバスターミナルに向かう。前回乗ったのと同じ路線であるが、今回は次の駅「恵我之荘」で乗り継いだ。「河内松原」で乗り継いだ方が安くなるので今日は始発停留所からとした。バス運賃は同じだが電車が40円安くなるのだ。駅の直ぐ南を府道12号が並行しているので、駅前広場とバスターミナルは道路の南側に在る。



02.河内松原駅で下車、バスに乗り換え

03.バスターミナルは道路に南に

5分ほど待つと「平尾」行き近鉄の小型バスがやって来て8名ほど乗り発車。め

ちやくちや狭い道を走るのでもミバス級の小型バスである。堺市美原区は政令指定都市の区なのに鉄道駅が無く、バスが頼りの地域で近鉄と南海のバスが入り混じっている。区に鉄道駅の無い政令市は他に札幌市と新潟市が有り、政令市になるための人口数合わせの証拠のように感じる。



04.「平尾」行き近鉄小型バスに乗車

先日乗車した「大阪橋」バス停で下車。すぐ近くの橋の名前は「新大阪橋」。何だここは、堺市でなかったのかい？大阪橋が見つからないので旧橋を架け替えたのだろうがバス停名はそのままだ。

右岸側の道を南に進むと対岸に釣り鐘らしき物が見える。こりゃ何じゃ、と気になり次の「小平尾橋」を見て左岸側を北に戻る。川沿いの道路は歴史を感じさせる物が少ないのでこれは良い獲物だ。



05.「大阪橋」バス停で降りると近くには「新大阪橋」が



06.右岸を歩くと左岸に鐘が見えるので左岸に行くと

旧美原町を中心とした地域は南河内郡の一部で、かつてこの辺りは「丹南郡」と称

していた。歩道沿いに設置された金属板の解説によると、渡来人がこの地で鋳物師として釣り鐘、仏像などを鋳造していた。近世になると鉄砲も製造していたようで、その技は全国屈指の銅器の産地富山県高岡に継承されているようだ。高岡に伝わる民謡に「丹南」の地名が挿入されている。



07.この辺りは鋳物師発祥の地だって



08.ここで造られた梵鐘は全国各地に



09.今では全国一の鋳物の町高岡の民謡にこの地が挿入されている

多くの銅板の中に面白い物を見つける。「おしゃか」の語源の由来が書かれている。鋳物で光背を背負った「阿弥陀仏」を造ろうとしたが、鋳型を崩すと細かい光背に湯が行き届かず、光背の無い「お釈迦」さまになって失敗した。ここから失敗したり不良品にしてしまった時に「おしゃか」になる、したと言うようになった。勉強になるなー。



10.「おしゃか」（にする）の語源がここに解説されている

そのまま左岸側の車道と区別された歩道を進むと屋根付きのベンチが現れる。これを逃がすわけにはいかないので早めの昼を摂る。松原駅のコンビニで買った新しいサンドで素早く済ませる。



11.堺にも有りました。「落合橋」が



12.ここで早めの昼を摂る

10分後に遡行を再開し、左右の川沿いの道路を交互に進む。川幅は何処まで行っても変わらず単径間のPC橋が続く

。国道309号を越え「菅生」地区に来ると大きく立派な公民館が建っている。入り口横の石碑に公民館建設のいわれが書かれている。地区が利用し維持管理してきた溜池を大阪府の事業地として利用することに協力し、その補償金を元に建設したとある。当方が住んでいる地区の町内会の公民館から見れば月に窟の違いだ。



13.この立派な公民館は溜池放棄の補償で建てたとき

右岸側を進むと人家が無くなり堺市から大阪狭山市に入る。道は舗装から砂利道となり不吉な予感がする。過去に数度行き止まりや草茫々の道に騙されてきたのが頭に過る。



14.人家が無くなり道も砂利道になり嫌な予感が

[続く]